

2017年5月19日

報道関係各位

公益財団法人 国際高等研究所

国際高等研究所「けいはんな“エジソンの会”」2017年度第2回会合の開催について

公益財団法人国際高等研究所（木津川市、理事長 立石義雄、所長 長尾真）は、けいはんな学研都市が標榜する「立地機関間の連携とそれによる成果の創出」を促進するための立地機関によるコミュニティの形成と、この街ならではの基幹技術・基幹産業の確立を目指して、「けいはんな“エジソンの会”」を開催しています。

具体的な「オープンイノベーション」の成功事例を造り込むだけでなく、けいはんな学研都市のコアとなる科学技術ドメインを確立することで、世界をリードするサイエンスシティを目指しています。この度、2017年度第2回会合を下記の通り開催いたします。

【開催概要】

- ◆日 時 5月30日（火）13：30～18：00
- ◆場 所 国際高等研究所レクチャーホール（木津川市木津川台9丁目3番地）
- ◆参加者 けいはんな学研都市の立地機関を中心に50名程度
- ◆プログラム
 - 13:30～14:50 「シーメンス社の考える Industrie 4.0 とそれを支える基盤技術」
神澤 太郎 シーメンス株式会社プロセスオートメーション部部长
 - 15:00～16:20 「ビジネスエコシステム時代の日本企業をどう方向付けるか」
ーモノ造り・モノ売りから、仕組み造りとサービス化に向けてー
小川 紘一 東京大学政策ビジョン研究センターシニアリサーチャー
 - 16:30～18:00 インタラクティブ・セッション

この機会に是非ご取材いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

報道関係者の参加申し込みについて

別紙返信用FAX用紙もしくはメールにて、5月29日（月）までにご連絡をお願いします。

（本件に関する問い合わせ先）

公益財団法人国際高等研究所 広報課 森口 有加里

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地

TEL: 0774-73-4000 FAX 0774-73-4005 携帯:090-4288-4001

E-mail: kouhou@iias.or.jp

ホームページ: <http://www.iias.or.jp/>

○「けいはんな“エジソンの会”」の目指すところ

けいはんな学研都市が標榜する「立地機関間の連携とそれによる成果の創出」を促進するため、高等研が知的ハブとしての役割を果たすとともに、立地機関の研究者や技術者のコミュニティを形成し、具体的な「オープンイノベーション」の成功事例の確立に寄与することを目指しています。

取組みの核となる科学技術シーズの領域を人工知能～AI とし、2017 年度からは、AI について具体的な出口を見据えた研究開発を実践するために必要な内容を掘り下げて提案していくことに主眼を置き、研究機関や企業に属する様々な立場にある方々が、自ら AI を中心としたテクノロジーを活用し、具体的な製品、サービスを生み出すことができるようになるためのテーマ設定をしていきます。

具体的には AI とそれを取り巻く技術の最新動向を掘り下げて解説する「テクノロジー」編と、様々な分野における AI を駆使した最先端のソリューションや AI の活用に係る課題を扱う「システム・社会」編から、テーマを厳選してお届けします。AI を中心とした新たなテクノロジーがどのように活かされ、どのように新たなエコシステムが切り拓かれるのか、様々な分野の研究者や企業の皆様にも大いに参考にいただけるものと期待しています。

○2017 年度第 2 回会合の概要

AI や IoT の進化は製造業における製品、機械、設備、人的資産の運用、エネルギーや各種リソースの消費、メンテナンスの最適化などを、エンド・トゥー・エンドのエコシステムに拡大して実現させ、これまでの製造業の軛から脱し、より効率的・効果的で、よりサービスオリエンテッドな事業展開へと変貌させようとしています。

第 2 回会合では、シーメンス株式会社神澤太郎氏より、ドイツを発信源とするインダストリー 4.0 について、その現状における進展について最新の状況をお話しいただくとともに、その中で AI や IoT、ビッグデータを活かしていくための戦略的基幹部分となるクラウドベースのオープン IoT オペレーションシステムについて詳しくご紹介いただきます。また、東京大学小川紘一先生からは、AI や IoT の時代となり、製造業が「もの造り、もの売り」の世界からの脱却を余儀なくされ、真のオープン化に伴う大変革に直面する中で、どのようにして巨大なエコシステムが新たに構築され、市場の競争ルールがいかに短期間のうちに変わっていくのか、そして、そこで勝ち残っていくためには、とりわけ日本企業はどのような布石を打っていくべきかについて、リニアモデルのオープンイノベーションを超えたオープン・クローズ戦略の観点からお話をいただきます。

○「けいはんな“エジソンの会”」の企画・運営を行う「企画運営委員会」（順不同、16 機関）

- ・ **研究機関**：理化学研究所、産業技術総合研究所、情報通信研究機構ユニバーサルコミュニケーション研究所、量子科学技術研究開発機構、国際高等研究所
- ・ **教育機関**：奈良先端科学技術大学院大学、滋賀大学、京都情報大学院大学
- ・ **企業**：西日本電信電話株式会社、サントリーホールディングス株式会社、パナソニック株式会社、株式会社島津製作所、京セラ株式会社、オムロン株式会社、株式会社国際電気通信基礎技術研究所、日本電産株式会社

○オブザーバー（順不同、9 機関）

- ・ 京都府、奈良県、木津川市、精華町、奈良市、国立国会図書館、関西文化学術研究都市推進機構、関西経済連合会、京都産業 21